

令和7年度 第1回 大阪市立小路小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立小路小学校

校園長名 湊 健 次

日 時	令和7年4月28日（月）17：30～18：30	
場 所	小路小学校 校長室	
出席者	委員など	(会長) (委員) (委員) (委員) (委員) (委員) (委員)
	校園	(校長) (教頭)
	区役所	(区まちづくり課)
議題	1. 令和7年度 「運営に関する計画」について 2. 令和7年度 「校長経営戦略支援予算」について	
協議要旨	協議の結果	意見の概要 (○…委員から ・…学校から)
	1 「運営に関する計画」について	<ul style="list-style-type: none">○ 中学生は、礼儀正しく、あいさつもしっかりできる。小学生はまだまだだが、小学生の時にしっかり基礎ができているから、中学生になって、きちんと実践できる。小学生の時の基礎作りが大切である。○ 不登校について、よい成果が上がっているようだが、毎日同じ時刻に遅刻にして登校している児童がいる。家庭環境によるものだと思うが、学校としてはどう思っているのか。 児童は基本的には真面目。不登校には精神的な部分が大きい。登校しにくい児童には、よりそう、受け入れるかかわり方が必要。<ul style="list-style-type: none">・それぞれの児童に適した対応を行っていく。○「学校に来るのが楽しい」ということが一番大切である。よい数字が上がっているので、継続して取り組んでほしい。・ホディティブ行動支援の取り組みの成果である。「自分のよさ」に気づかせる教育に今後も取り組んでいく。○タブレットを使う学習が、コロナ禍後進んだが、タブレット、スマートファンを使うハードルが下がり、使用が一気に進んだ。しかし、スマートフォンによるトラブルが多く起こっている。小学生は親が管理をしっかりするべきだが、管理できない場合が多い。家庭には多様なルール、多様な考え方があるので、学校はトラブル解決に大変だと思う。学校は家庭には踏み込めない。学校が児童に気付かせる指導が必要である。○いじめについては、テレビの番組の影響が大きい。笑いを誘うために、暴力をふるったり、言葉でいじったりしている。○運動についても家庭がベース。スポーツクラブ、PTAの活動、地域の行事等、児童が運動を好きになる機会は多くある。○予算額は、どのようにして決まるのか。頑張って取り組みを行い、成果をあげている学校により多く予算配置をするべきではないか。少人数の学校ほど予算が少ないので、頑張りを
	2 「校長経営戦略支援予算」について	

		認めていない。区役所も予算を学校に提供しているが、十分な金額でないのでは。学校への予算配置に学校の取り組みの評価を反映するべきではないか。
協議資料		・令和7年度 「運営に関する計画」 ・令和7年度 「「校長経営戦略支援予算」
備考		傍聴者[0]名